

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	3171	施策名	安心して医療を受けられるまち	主担 当課	健康医療課
大項目	安心して暮らせるまちづくり				
基本 方針	市民が住む場所や時間に限られず、必要な医療を安心して受けることができるまちを目指します。 そのために、医療体制については、医療関係機関などと連携しながら、医療サービスの向上を目指し、地域医療体制、救急医療体制の整備を図ります。市民病院については、地域の中核的な病院として地域の医療機関と連携しながら、地域で必要とされる医療を引き続き提供できる体制を維持します。			関係課	市民病院
					消防本部

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	救急医療体制整備事業																				
事務事業の目的					事務事業の内容																
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)																			
休日に受診を望む市民		日曜・祝祭日・年末年始の医療機関が休みの日でも、市内に内科と外科系それぞれ1医療機関が当番で開院し、急な受診を希望する市民の受診機会を確保する。歯科については、年末年始の受診機会を確保する。			・笠岡医師会と委託契約を締結し、休日当番医制度を実施する。 ・岡山県南西部圏域における二次救急医療体制の整備を図る。																
平成23年度													平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●医師会・歯科医師会補助金 ・研究研修費用の助成 ●在宅当番医制事業 ・休日の内科・外科系の診療体制の確保 ●二次救急医療体制事業 ・県南西部圏域における二次救急体制の整備				⇒			⇒			⇒										
直接事業費	決算額	8,107		千円	決算額	8,107		千円	決算額	6,985		千円	決算額	7,111		千円					
	うち一般財源	8,107		千円	うち一般財源	8,107		千円	うち一般財源	6,985		千円	うち一般財源	6,372		千円					

2	市民病院運営事業																				
事務事業の目的					事務事業の内容																
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)																		
地域住民			笠岡地区を中心に地域医療を担い、安心して暮らせるようにする		・内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻咽喉科による診療 ・各種健診事業 ・島しょ部診療所への医師の派遣																
平成23年度													平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●病院事業 ・安全で良質な医療の提供 ・救急医療の実施 ●市民病院改革プランの実施 ・経営の効率化 ・患者サービスの向上				⇒			⇒ (新規事業) ・循環器内科、呼吸器内科を新設			⇒ (新規事業) ・地域包括ケア病床を新設(16床)										
直接事業費	決算額 (人件費含)	2, 125, 441	千円	決算額 (人件費含)	2, 043, 212	千円	決算額 (人件費含)	2, 048, 550	千円	決算額 (人件費含)	2, 206, 891	千円									
	うち 笠岡市負担分	449, 900	千円	うち 笠岡市負担分	393, 460	千円	うち 笠岡市負担分	378, 010	千円	うち 笠岡市負担分	457, 390	千円									

3	へき地診療所事業											
事務事業の目的							事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
島嶼部住民		・島嶼部住民等の診療を行い、医療業務を円滑に実施する。					・六島・高島住民等の診療を行う。 ・患者輸送艇の運航					
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●離島救急患者及び医師輸送費補助金 ●患者輸送艇運航 ○へき地診療所運営			⇒			⇒			●患者輸送艇運航 ○へき地診療所運営		
直接事業費	決算額	4,675	千円	決算額	4,550	千円	決算額	6,800	千円	決算額	4,595	千円
	うち一般財源	4,675	千円	うち一般財源	4,550	千円	うち一般財源	6,800	千円	うち一般財源	4,595	千円

4	真鍋島直営診療所施設運営事業											
事務事業の目的							事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
島嶼部住民		・島嶼部住民等の診療を行い, 医療業務を円滑に実施する。					・真鍋島住民等の診療を行う。					
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●離島救急患者及び医師輸送費補助金 ●患者輸送艇運航 ○直営診療所運営			⇒			⇒			○直営診療所運営		
直接事業費	決算額	26, 975	千円	決算額	14, 964	千円	決算額	26, 501	千円	決算額	26, 285	千円
	うち一般財源	26, 975	千円	うち一般財源	14, 964	千円	うち一般財源	26, 501	千円	うち一般財源	26, 285	千円

5	医療費給付事業(単県医療制度)											
事務事業の目的							事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
子ども 障害者 ひとり親		受給者の経済的負担の軽減					子ども:医療費の無料化 障害者・ひとり親:自己負担割合を1割とし、月額限度額を設定することにより医療費負担を軽減する。					
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	・子ども医療費の公費負担給付 ・ひとり親家庭医療費の公費負担給付 ・障害者医療費の公費負担給付			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	224,760	千円	決算額	212,838	千円	決算額	259,485	千円	決算額	273,129	千円
	うち一般財源	155,000	千円	うち一般財源	146,134	千円	うち一般財源	193,726	千円	うち一般財源	209,460	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
直接事業費	2,389,958	千円	2,283,671	千円	2,348,321	千円	2,518,011	千円			
うち一般財源	644,657	千円	567,215	千円	612,022	千円	704,102	千円			

<4.指標>

指 標 名				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	市民病院診療科目数	単位	目標				12	12	12
		科目	実績	11	10	10	12	12	
			達成率				100.0%	100.0%	
2	市民病院常勤医師数	単位	目標				11	11	11
		人	実績	12	12	10	10	10	
			達成率				90.9%	90.9%	
3	休日当番医(医科)救急診療の診療科目数	単位	目標				1	1	1
		科目	実績	2	2	2	1	1	
			達成率				100.0%	100.0%	
4	島しょ部診療所(医科・歯科)数	単位	目標				9	9	9
		箇所	実績	9	9	9	9	9	
			達成率				100.0%	100.0%	

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント	対応・回答
・継続的な市外の近隣医療機関との相互協定による医療受け入れ態勢の構築が必要と考えられます。	→ 笠岡市立市民病院の今後のあり方については、基本方針を定めております。この基本方針では、「従来の全ての医療を一貫して担う病院完結型の病院から、それぞれの特性を活かし、患者さんの状態に応じて連携することで、質の高い医療を効率よく提供し、地域全体で地域住民をサポートする地域（医療圏）完結型の病院を目指す。」としております。この基本方針に沿いまして、近隣医療機関との連携強化を進め、地域完結型の病院を目指します。
・市民病院の立地については疑問があります。駅周辺への移動も視野に入れて、災害に強い市民の病院、市の中心部を作っていたきたいです。	→ 市民病院の建替えを検討しています。建替えに当たっては、病院機能、規模及び建設場所等を検討いたしますので、貴重なご意見として賜ります。

＜6.平成26年度の振り返り＞(担当部署自己評価)

施策の 進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。	B
	B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。	
	C: 施策を構成する事業が一部遅れている。	
	D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	

＜7.施策の課題と改善案＞

課題と改善案	笠岡市立市民病院及び島しょ部診療所の運営にあたり、医師、薬剤師、看護師等の医療従事者の確保に苦慮している。医学生への奨学金制度の制定や岡山大学への陳情活動を行っているが、なかなか成果が上がっていない。
--------	---

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・夜間休日に小児科医がおられず、市外への受診を余儀なくされることを耳にします。市民病院で対応をしていただけるようになれば助かると思います。			